

동아시아 기독교청년대회
東アジア青年キリスト者大会
东亚洲基督青年大会

<http://threetogether.com>

**The Three will be
Together !**

Isaiah 19:24(NLT)

東アジアをつなぐ 青年のための 信仰成長のための 活動の必要性

グローバル化が進む日本社会において、多くの若者が海外旅行や留学などの経験をし、その中でも「東アジアの三国」と呼ばれている中国と韓国と交流が一番大きな割合を占めています。

しかし、同時に東アジアの3カ国は歴史的な愛憎と政治的な立場の違いのために複雑な関係にあります。

このような背景のもと、私たちは日本—中国—韓国の青年をつなぐ信仰成長のための活動を始めました。



中国と韓国宣教の 枠を超えて

私たちには「地の果てまで宣教」という使命があります。それを果たすためにも日本の教会が中国と韓国にも宣教し、さらにはその枠を超えていかなければなりません。まず青年による短期チームを派遣することも良いでしょう。現在、日本には在日の韓国人・中国人留学生が沢山住んでいます。彼らに対する宣教活動も様々な形で検討されています。

しかし、このような活動はばらばらに行なわれているため、3カ国の青年が対等な立場で会い、交わる場がほとんどありません。さらに、教勢が大きな韓国教会が主導するケースが多くなっています。

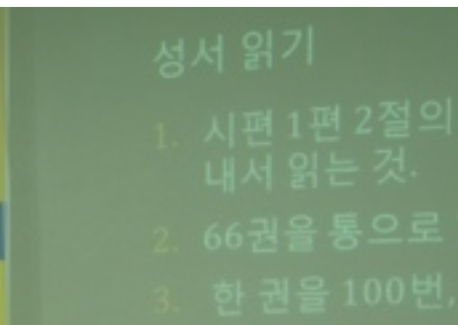
東アジア青年キリスト者大会は韓国と中国宣教における次の世代を考えていかなければなりません。各国固有のキリスト教的伝統と社会的状況を理解しつつ「隣人」「和解者」としての「宣教の枠組みを超えた活動」を考えます。



東アジア3カ国の 信仰の遺産の 継承と発展

東アジア3カ国は地理的に近いこともあって、相互に様々な影響を及ぼしながら発展して来ました。それは、キリスト教が広まっていく過程においても、相互に大きな影響を及ぼし合ってきました。日、中、韓のキリスト教は類似点があるものの、各国それぞれ固有な信仰の伝統を持っています。

東アジア青年キリスト者大会は東アジア3カ国の青年キリスト者が共有すべき各国の信仰の遺産を継承、発展させます。各国のキリスト教の歴史と信仰の偉人から教訓を得、日、中、韓に与えられた宣教的使命を全うする所存です。

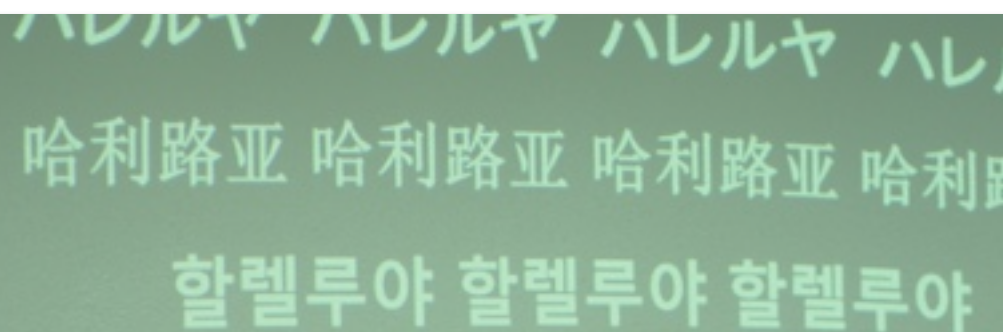


多様さの中での 一致をもつ 主の御国の建設

3カ国の青年が集まる時、実は集まっているのは3カ国の青年だけではなくありません。留学、移民などにより複数の文化のアイデンティティを持っている人、脱北者、在日韓国人、中国朝鮮族などの3カ国だけのアイデンティティだけでは説明できない多様な背景の参加者が共に集います。

参加者の多様性はそれ自体がメッセージ性を持ちます。公式的な集会では3カ国の通訳を提供し、説教者や講師も各国のバランスをとった選定をします。誰も疎外感を感じることなく、対等な立場で大会に参加して、多様性が提供してくれる豊かさを学んでいきます。

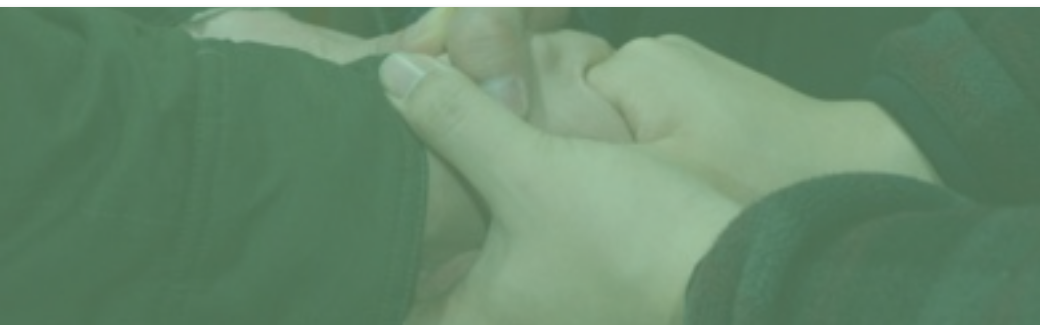
参加者みなが自分の母国語で主を賛美し、心を一つにして熱い祈りを捧げることにより、主の御国を今ここで味わうという経験をすることができるのです。



平和を造り上げる 次世代の指導者の 育成

各国の政治家、学者、社会運動家が東アジアの平和のために様々な形で尽力しています。そのような努力が実を結び平和の時代を造り上げるでしょう。しかし、未来は次の世代の指導者となる青年のものであることは、疑いの余地がありません。

東アジア青年キリスト者大会は、主イエスの考えておられる真の平和を造り上げる働き人を育みます。青年がそれぞれ遣わされている場所で主イエスの平和を実践するときに反目と葛藤の歴史が終焉し、平和の時代が来るでしょう。次世代を担う青年こそ大会の一番の資産です。



盛りだくさんなプログラム

礼拝

3カ国の青年たちが御霊によって一つとなり、各自の母国語で賛美する礼拝は東アジア青年キリスト者大会の目玉です。日中韓3カ国の牧師が聖書からこの世界の現実を見据えて、青年キリスト者に主のメッセージを語り、青年はみことばに応答し、進んで献身します。

講師：リ・スンジャン（聖書韓国共同代表）、ジョン・スンイク（イエスマウル教会）、パク・スミン（日暮里国際教会）、キム・ドンチュン（SFC）、明石清正（ロゴス・クリスチャン・フェローシップ）、永井敏夫（J、Clay Mission Network）、大嶋重徳（KGK）、郁俊徳（中国）、蘇才富（中国）

講義と ワークショップ

東アジアの文化と歴史を見ながら互いを理解して未来を見据えることができるような充実した講義を用意しました。歴史、知性、宣教の部分で厳選された講師陣が多様なテーマで講義をし、参加者が互いに討論し、体験できるワークショップの時間を持ちます。

講師：キム・キヒョン（ロゴス書院）、キム・ウンギョウ（淑明女子大学）、キム・ヒョンドク（韓半島平和繁栄研究所）、パク・ジホ（平和ヌリ葛藤転換センター）、ソ・ソンハン（済州サランハヌン教会）、アン・ソンホ（OMF宣教師）、ユン・ハンチョル（未来ナムム財団）、チョ・ヨンホン（高麗大学）、ノ・ハクヒ（宣教師、綾瀬東部教会）

小グループ

大会の間、各国からの参加者が参加する小グループを編成します。3泊4日間一緒に生活しながら分かち合い、活動を共にしながら親交を深めます。3カ国の青年が言語の壁を越えて過ごす小グループの時間は御霊による一致を経験できる素晴らしい時間です。

活動

礼拝と講義の他にいろいろなプログラムがあります。大会が開催されている場所の歴史と文化を探訪することのできる観光プログラム、言語理解を必要としないで楽しむことができるゲーム、一緒に料理を作るなどの活動を通して友情を深めます。



東アジア青年キリスト者大会の歩み



第一回大会

2011. 1. 1 ~ 2

日本、東京福音教会



第二回大会

2012. 1. 1 ~ 3

日本、東京福音教会



第三回大会

2013. 2. 12 ~ 15

韓国 濟州島李基豐宣教記念館

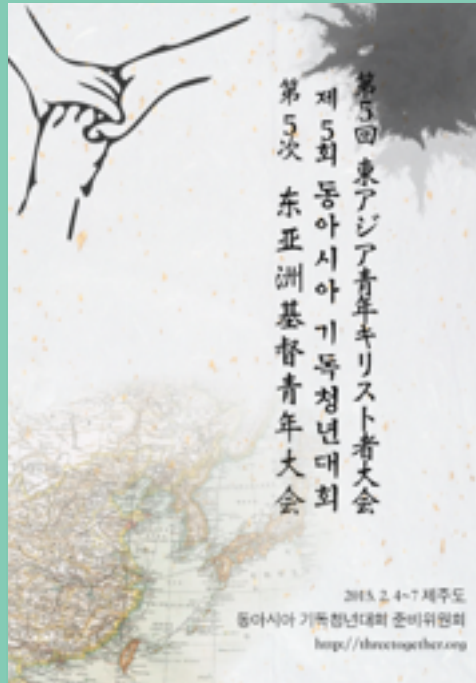
2011~2016



第四回大会

2014. 2. 13 ~ 15

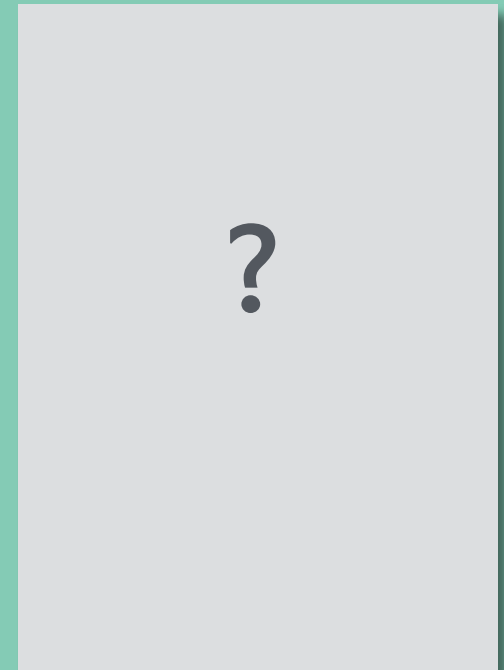
韩国 济州島李基豊宣教記念館



第五回大会

2015. 2. 4 ~ 8

韩国 济州島李基豊宣教記念館



第六回大会

2016. 1. 4-8

香港予定

協働への呼びかけ

青年への奨励

大会の趣旨にそった青年たちに本大会について紹介し、大会が必要とする青年をぜひ送ってください。他の国の青年キリスト者と接触することで得られる刺激とチャレンジ、友情は格別です。

ネットワークへの参加

大会のビジョンとその働きに共感されるなら、準備委員会、又は、参加教会、団体としてご参加ください。各国の教会と団体が参加する安定したネットワーク構築こそが、東アジア青年キリスト者大会が東アジアで一目置かれる信仰成長を促す活動してしっかり根を下ろすことができる近道となります。

大会への支援

大会の円滑な運営のために人的、物的な支援が必要です。支援金は大会開催だけではなく、参加する青年をサポートするためにも用いられます。

大会を一緒に支えている人々

東アジア青年キリスト者大会は各国の教会、団体が一緒に支え合い、国別に実行委員会を構成して大会を準備します。大会の趣旨に賛同して参加したいと願う教会、団体はご連絡をお願いいたします。

参加教会と団体

韓国 チョンオラム ARMC、イエスマウル教会

日本 ログス・クリスチャンフェローシップ、綾瀬東部教会、神の家族主イエス・キリストの教会

中国 在京日暮里国際教会、東京華人クリスチャン・センター

各国実行委員会

韓国実行委員会、日本実行委員会、中国実行委員会

Contact

<http://threetogether.org> / peace@threetogether.com